

報道関係者各位

2018年10月29日

3次元CAD/CAMの最新版 TopSolid'Cam 7.12J を11月1日に発売

～ 11月1日に開催されるJIMTOF 日本国際工作機械見本市に初出展 ～

国内4,500社にCAD/CAM/CAEシステムを提供しているコダマコーポレーション株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:小玉博幸)は11月1日(木)、3次元CAD/CAMシステムの最新版である「TopSolid'Cam 7.12J」(トップソリッドカム)を発売致します。

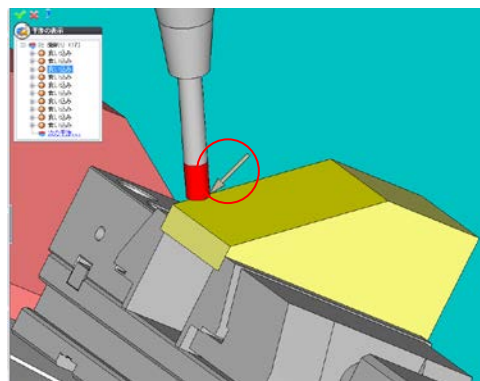
TopSolid'Cam 7.12JはフランスのCAD/CAMベンダーであるMissler Software社が開発した3次元CAD/CAMシステムです。コダマコーポレーションは、Missler Software社の国内総販売元として開発、販売、サポートを行っています。今回の最新版では、86項目に上る新機能が搭載され、ユーザーの生産性のさらなる向上を実現する強力なシステムとなっています。

コダマコーポレーションは、11月1日から6日まで東京ビッグサイトにて開催される第29回日本国際工作機械見本市(JIMTOF 2018)に出展し、今回の最新版を初めて展示します。

今回発売する最新版「TopSolid'Cam 7.12J」の新機能の内、3つを以下にご紹介します。

干渉箇所への矢印の表示

TopSolid'Cam 7.12Jは、工具と加工材のほか、ジグ、ツーリングおよび工作機械全体の加工シミュレーション機能を搭載しています。特に工具と加工材が複雑に動く5軸加工では干渉や衝突を防ぐために必須の機能です。これまで干渉箇所は赤く表示されましたが、TopSolid'Cam 7.12Jでは、矢印が表示され、わずかな干渉箇所でも見付けやすくなります。



加工ノウハウのより柔軟な定義

TopSolid'Cam 7.12J は、ユーザーの加工ノウハウを「メソッド」として登録、蓄積することで、加工の標準化とツールパス(工具の移動経路)の作成の自動化を推進します。そのメソッドの定義にユーザーが独自に設定した変数を利用できるようになります。

加工指示書の寸法を自動記入

TopSolid'Cam 7.12J には、NC データを作成するだけでなく、加工指示書を作成する機能があります。加工指示書に投影された工具の図面に突き出し長さや工具アセンブリの全長などの寸法を自動で記入できるようになります。いままでは寸法を手動で記入する必要がありましたが、その操作が不要となります。



対応している OS Windows 10 Pro、Pro for Workstation、Pro for Workstation Plus、
Enterprise、Education (64bit)
Windows 8、8.1 Pro、Enterprise (64bit)
Windows 7 Professional、Enterprise、Ultimate SP1 以上 (64bit)

価格 1,500,000 円(税別)~

年間のメンテナンス料金を含まない、ソフトウェアライセンス使用権のみの標準価格です。
TopSolid'Design 7.12J とポストプロセッサが必要です。

お問い合わせ窓口

コダマコーポレーション株式会社 事業推進室 中條 貴之

TEL 045-949-1331 FAX 045-949-1515 E-mail bizinfo@kodamacorp.co.jp

URL <http://www.kodamacorp.co.jp/>

- * このプレスリリースに記載された会社名、商品名は、各社の商標、または登録商標です。
- * このプレスリリースに記載された情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な後発事象によって変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。